

投資事業評価調書（継続）

| | | | | | |
|------|---------------------------|---------------------|----------------------|----|---------|
| 部課室名 | 県土整備部 まちづくり局 市街地整備課 | 記入責任者職氏名 (担当者氏名) | 課長 小林健二 (主幹 谷川俊男) | 内線 | 4 6 7 3 |
|------|---------------------------|---------------------|----------------------|----|---------|

| | | | | | | |
|--|--------------|--|---|--------------------|-----------------|--|
| 事業種目 | 土地区画 整理事業 | 事業名 | 総事業費 | 62億円(組合単独費等含め91億円) | | |
| | | 鴻池土地区画整理事業 | 内補償費 | 25億円 | | |
| 所在地 | | 事業採択 年度 | 着工年度 | 完成予定 年 度 | 進捗率 (内補償進捗率) | |
| 伊丹市 鴻池 字 乙 丸 ほか | | H 6 | H 8 | H 1 6 | 90.3%(98.7%) | |
| 事業の目的 | | | 事業内容 | | | |
| 本地区は、市の中心市街地より北へ3km、JR福知山線中山寺駅から南へ約2kmに位置し、伊丹市新総合計画において自然環境に恵まれた良好な市街地形成を図るよう位置付けられている。また、地区周辺は宅地化が活発であることから、都市計画道路及び区画道路、公園等の整備を早期に行い、健全な市街地の形成を図る。 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・施行地区の面積 A=33.6ha ・都市計画道路 <ul style="list-style-type: none"> 宝塚池田線 W=24m L=1,159m 塚口長尾線 W=22m L= 456m ・区画道路 W=4~10m L=6,453m ・特殊道路(緑道等) W=4~5m L= 438m ・公園：鴻池第一公園他2公園 A=0.94ha | | | |
| 進捗状況 | | <ul style="list-style-type: none"> ・平成6年3月都市計画決定 ・平成7年3月組合設立認可 ・平成9年3月造成工事着手 ・平成15年度末で約98%の宅地が使用可能となる ・平成16年度残事業 宝塚池田線(築造)L=120m、塚口長尾線(舗装)L=456m、区画道路(築造) L=440m、整地工事 A=0.47ha | | | | |
| 評価視点 | | 評価結果の説明 | | | | |
| (1) 必要性 安全・安心 地域の活性化 快適性・ゆとり 地域ニーズ等 | | <ul style="list-style-type: none"> ・県の地震防災緊急事業5ヵ年計画に避難路として位置付けされている塚口長尾線を整備し、地域の防災機能の向上を図る。また、あわせて主要区画道路にも歩道を配置することにより、歩行者の安全確保をおこなう。 ・幹線道路の整備に伴うバス路線の新設、健全な市街地の形成により、地域の活性化を促進する。 ・公園及び河川堤防を利用した緑道の整備により、住民の散策と憩いの場を提供する。 ・地元権利者が組合を設立し、主体となって進めている事業である。 | | | | |
| (2) 有効性・効率性 | | 本事業は都市計画道路をはじめとする都市基盤施設と宅地を一体的・総合的に整備し、良好な市街地を形成するものであり、投資効果は高い。 費用便益比：B/C 1.13 | | | | |
| (3) 環境適合性 | | 公園整備のほか、都市計画道路及び緑道の植栽を行い、みどりの創出を図る。また、歩道舗装に透水性舗装を施すなど生活環境の向上を図る。供給・排水処理施設についても本事業と併せて整備することにより、良好な都市環境を創造する。 | | | | |
| (4) 優先性 | | 都市計画道路塚口長尾線については地区外の整備も着手されており、地区内外の整備進捗を図る必要がある。また、地区西部の旧集落においては密集住宅市街地整備促進事業(鴻池地区)が実施完了しており、当事業も早期完成を目指す必要がある。 | | | | |
| 再評価の結果 | 継続 | 左の理由 | 上記理由により継続が妥当である。 | | | |